

# 縄文時代の環状集落 梅之木遺跡の活用事業

北杜市明野町浅尾地区の縄文時代中期の遺跡、梅之木遺跡では、平成15年の県営畑地総合整備事業に伴い発掘調査が行われ、住居跡がドーナツ状に並んで残る“環状集落”が発見されました。梅之木のような、大規模な環状集落の全体像が調査で明らかにされている例は、県内では稀なことです。

茅ヶ岳歴史文化研究所ではこの貴重な遺跡を住民に知ってもらい、活用してもらうために、北杜市教育委員会のご協力を得てボランティア活動やイベントなどを行ってきました。梅之木遺跡は今春からまた発掘調査が再開されます。茅ヶ岳歴史文化研究所ではこれからも遺跡保護と活用のための活動を続けていきます。

## 梅之木日没観察会

茅ヶ岳歴史文化研究所では、梅之木遺跡を舞台にした縄文体験イベントとして計4回の日没観察会を行い、火おこしをしたり、縄文汁を作るなどして縄文の生活を体験しました。



## 梅之木発掘ボランティア

梅之木遺跡で平成16年度に行われた調査発掘に、ボランティアの参加者を募集し作業に協力しました。ボランティア参加者は10月から11月末までの毎週土曜日に発掘作業を行いました。



梅之木遺跡の航空写真。  
白い丸が描かれたところが住居跡。  
住居が連なって環状となっています。



## 梅之木縄文コンサート

平成17年3月19日に行われた春分日没観察会では、復元した土器に鹿の皮を張って作られた“縄文鼓（じょうもんこ）”と、石に穴をあけて作った“磐笛（いわぶえ）”を演奏するコンサートを開催しました。



## 文化庁助成事業 「伝統文化子ども教室」



### 明野町浅尾三島神社で四方の舞を披露する児童

平成16年度伝統文化子ども教室事業にて実施した「おかぐらチャレンジ教室」は、4月3日と10日の神社春祭りにおいて子ども神楽を披露し、事業を終了しました。教室は講師に三島神社神楽保存会の上野周茂氏と藤巻元氏を招いて、月2～3回の練習会を開催し、明野小学校児童7名が参加していました。

日没観察会 会場

発掘ボランティア現場

縄文コンサート会場

## 縄文ワークショップ

平成17年2月には北杜市埋蔵文化財センターで縄文ワークショップが行われ、参加者はそれぞれ自分が選んだ縄文の模様を使って、自分だけのオリジナルTシャツを作りました。



## 梅之木遺跡発掘報告講演会

3月には平成16年度の梅之木遺跡発掘調査の報告講演会が開かれました。発掘風景写真や航空写真の上映や、出土品の解説などが行われました。

